

令和4年度シラバス（ 公民 ）

教科（科目）	公民（政治・経済）	単位数	2 単位	学年（系）	2 学年（文系）
使用教科書	東京書籍『政治・経済』				
副教材等	浜島書店 最新図説『政経』、東京書籍 『政治・経済ワークノート』				

1 学習目標

- 1 民主主義について理論的・体系的に理解し、現代の政治、国際関係などについて客観的に理解する。
- 2 1 の理解を踏まえ、現代の諸課題について、多面的かつ主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民としての能力を育てる。

2 指導の重点

- ・毎時の授業のはじめに学習の狙いを示すことで、積極的に学習活動に臨む姿勢を養う。
- ・現状や問題点を論理的に思考する「公民的思考力」が身につくことに重点を置いた指導を行う。

3 学習計画（1 単位時間：55分）

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4 5	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法の支配 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治 5 世界の主な政治体制	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本的な原理について、その成り立ちを歴史的な観点からとらえさせる。 ・世界の主な政治体制についてイギリス、アメリカ合衆国、中国などと比較しながら理解させる。 ・日本国憲法の制定過程や三大原理である国民主権、基本的人権の保障、平和主義について歴史的な経緯を踏まえながらとらえさせる。また、具体的な事例に即しながら、その特徴と問題点について理解させる。 	13	1 学期中間考査 課題の提出 授業の取り組み
6	第2節 日本国憲法の基本原則 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義			13	1 学期期末考査 課題の提出 授業の取り組み
7 8 9 10 11 12	第3節 日本の政治機構 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所の三権のはたらきについて、前節の理念との関係を踏まえて考察させる。 ・地方自治の制度について、近年の市町村合併や住民投票などの動きに注意しながら、具体的な事例に即して理解させる。 ・最近の選挙の動きに注目させ、選挙制度などについて具体的に学習を展開し、将来の有権者としての行動はどうあるべきかを考えさせる。 ・戦後日本の政党の変遷をとらえさせ、政治活動や政治資金の問題点などを理解させる。 ・マスメディアの果たす役割や問題点について考えさせる。 	13	2 学期中間考査 課題の提出 授業の取り組み
	第4節 現代政治の特質と課題 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加			13	2 学期期末考査 課題の提出 授業の取り組み
1 2 3	第5節 現代の国際政治 1 国際関係と国際法 2 国際社会の組織化と変容 3 国際政治の動向 4 国際政治の課題 5 地球環境と資源エネルギー問題 6 地球市民社会における日本の役割	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の国際政治の変遷に触れながら、国際法や国際連合の組織としての機能などについて理解させる。 ・国際政治の動向や特徴について、現在、どのような動きがあり、何が争点になっているかなど、具体的な動きに注目することで、国際政治への関心を高める。 ・日本が地球社会に対して果たすべき役割などについて考えさせる。 	12	3 学期期末考査 課題の提出 授業の取り組み

計 64 時間（55 分授業）

4 課題・提出物等

毎回の定期テスト後にワークノートを提出。その他、必要に応じて指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解
現代の政治、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追求し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るために客観的に考察しようとしている。	現代の政治、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について幅広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。	現代の政治、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、主体的に有用な情報を主体的に選択し、活用するとともに、様々な方法を用いて結果について適切に表現し、結果について適切な表現をしていくことができる。	現代の政治、国際関係について基本的な事柄、本質や特質などを理論的・体系的に理解し、基本的な概念や理論を知識として身につけている。
以上の観点を踏まえ、①授業の取り組み（授業態度・学習活動への参加状況）②提出物 ③定期考査・小テストなどから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

「政治・経済」で取り扱う内容はこれからの社会で生きていく上で必要な知識だと考えます。自分たちがこれから担い、作り上げていく社会をよりよいものにするために、一緒に学んでいきましょう。